

2020年度 人権連続講座

参加費：無料（1講座のみの参加でも可能です）

会場：クロスパル高槻（総合市民交流センター）

7階第6会議室*JR高槻駅中央出口南側出てすぐ

定員：各回50名（要事前申し込み・先着順）

手話通訳・要約筆記あり

申込：（一社）高槻市人権まちづくり協会（下記）まで



様々な人権課題をやさしく学ぶ講座



第1回 10月2日（金）午後2時～4時

差別と向き合うマンガたち ～「黒人描写問題」を手がかりに～

京都精華大学副学長・マンガ学部教授 吉村 和真（よしむら かずま）さん

マンガに描かれた登場人物たちの外見やセリフには、さまざまな先入観が潜んでいます。会場で作品と一緒に読みながら、「マンガと偏見の複雑な関係」について考えてみませんか。



第2回 10月9日（金）午後2時～4時

地域のささえ合いと多文化共生 ～社会の担い手としての外国人住民～

NPO法人コリアNGOセンター 事務局長 金光敏（きむ くわんみん）さん

新型コロナウイルス感染拡大の中で見えた多文化共生の課題。私たちが日常から持つべき視点について考えます。



第3回 10月16日（金）午後2時～4時

私と部落問題 ～部落差別は昔話じゃない～

（一社）部落解放・人権研究所 職員 小西 愛里紗（こにし えりさ）さん

「寝た子を起こすな」とは言うけれど…若者が考える部落問題を伝えます。



第4回 10月23日（金）午後2時～4時

DVと性暴力は感染症と同様に世界の公衆衛生の最重要課題

エンパワメント・センター 主宰 森田 ゆり（もりた ゆり）さん

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策でステイホームが促される中、DV や児童虐待などの痛ましい事件が明るみになりました。女性とこどもの命が危険に晒されている状況を伝えます。



第5回 10月30日（金）午後2時～4時

閉ざされた扉を開く ～相模原障害者殺傷事件裁判が終わって～

障害者問題資料センターりぼん社代表 小林 敏昭（こばやし としあき）さん

世間を震撼させた津久井やまゆり園殺傷事件の裁判が終結しました。この事件を「怖かった事件」だけで終わらせず、本質的な障がい者の問題は何かあったのか考えませんか。



主催：高槻市

後援：高槻地区人権推進員企業連絡会・三島人権擁護委員協議会高槻地区委員会

企画・運営：一般社団法人高槻市人権まちづくり協会（問合・申込先：072-647-7825）

